



こまくさ

令和7年度

9月5日 No26

仙北市立生保内小学校

学 校 報

教育目標～夢に向かって やさしく!かしこく!たくましく!

生小ドリームフェスタ2025に向けて

フェスタのテーマ

『楽しく・元気に・最高のドリームフェスタ 2025』

9月13日の「生小ドリームフェスタ 2025」に向けて、各学年の練習にも熱が入ってきました。「こまくさ」では、演目の見どころを紹介していきたいと思います。今回は、2年生と4年生の発表について紹介しましたが、今回は1年生と6年生を紹介します。

小学校に入学して初めてのドリームフェスタに参加する1年生・ハーモニー学年は、絵本『てぶくろ』を劇で演じます。このお話はウクライナの民話をもとにしたもので、おじいさんが落としたてぶくろに、ねずみが住みはじめ、次々に動物たちが仲間入りしていきます。やがて手袋にはしごや窓がつき、煙突から煙が出て、まるで家のように変身していきます。



1年生は、初めての舞台にドキドキしながらも、元気いっぱいに練習を重ねてきました。登場する動物たちのかわいらしさを、振り付けやセリフの言い方に工夫をこらして、一生けんめいに表現しています。その姿からは、1年生らしい明るさとパワーがあふれ、観る人の心をほっこりと温かくしてくれます。初めてのフェスタに向けてがんばってきた1年生の姿を、ぜひご覧ください！

生保内小学校の最高学年・元気学年が挑む最後のフェスタ。その演目は、オリジナル劇「ギャラクシートレイン」で



す。子どもたちはギャラクシートレインに乗って過去へタイムトラベルし、小学校1年生から今までのさまざまな出来事を振り返ります。その旅の中で、自分たちの成長や、これまで築いてきた友達との絆の深さに気が付きます。劇の終盤では、元気学年の仲間の素晴らしさや、生保内小学校の温かさを再認識し、卒業までの残り半年を全力で駆け抜ける決意を伝えます。劇のラストを飾る歌「キセキ」では、歌が大好きな元気学年らしい、心に響く歌声が体育館いっぱいに広がります。その歌声に、観ている人は癒され、思わず涙がこぼれそうになるほどです。



劇が終わると、すぐに「フェスタおわりのあいさつ」へと続きますが、そのあいさつもまた感動的です。最高学年として学校をリードしていく決意と、これまで支えてくれたすべての人への感謝の気持ちが、まっすぐに伝わってきます。

※写真は練習風景です

よろしくお願ひします

明日から「角館の祭典」が始まります。この祭典は地域の伝統行事の一つであり、仙北市においても大きな行事といえます。そのため、「角館の祭典」に出かけられるご家庭もあるかと思います。本校では、学区外の行事であることから、参加については基本的に各ご家庭の判断にお任せしております（なお、参加人数の把握のため、担任が児童に参加予定を確認しております）。「角館の祭典」に出かけられる際は、体調管理などに十分ご留意いただき、楽しくご参加いただければと思います。※本校は8日・9日ともに通常通りの登校日となっております。